

シリーズ⑩
北近江の観音さま

北近江の寺院や仏堂に祀られている多くの観音さま。今もなお地域の人たちによって守り継がれています。その中から代表的なものをシリーズで紹介しています。

市指定文化財
「木造聖観音坐像（阿弥陀寺）」

指定日：平成16年4月30日
所在地：西浅井町菅浦

奥琵琶湖、葛籠尾半島に位置する菅浦は、淳仁天皇ゆかりの地と伝わり。村の東西の入り口には「四足門」と呼ばれるヨシ葺きの門が残り、また鎌倉時代以来の「菅浦文書」（重文）を伝えるなど、中世の名残を今にとどめる集落として知られています。

高台に建つ時宗寺の阿弥陀寺は、もと天台宗と伝えられ、鎌倉時代に託何上人が当地を訪れ、時宗を広めてこの寺を開いたと言います。本尊阿弥陀如来立像（重文・秘仏）は、その足柄に銘文が発見され、鎌倉時代に活躍した仏師・快慶の弟子、行快の作であることが判明しています。

本堂左手には、本像（聖観音坐像）と半丈六の阿弥陀如来坐像（いずれも市指定）の二体が安置されています。二体とも現状は素地を呈し、気品高く慈悲深い、静かで穏やかな像容を示しています。平安時代も後期十二世紀の作とみられ、



淳仁天皇の菩提寺と伝わる「菅浦山長福寺」（別名・二尊堂）に伝来した像です。まさに菅浦集落の歴史の豊かさを示す、好個の信仰遺産と言えるでしょう。

※半丈六：一丈六尺（約4.85メートル）の半分。

問 長浜城歴史博物館
☎63-4611

座ぶとん会議

36

市では、風通しのよい開かれた市政を実現するために、市内の自治会をはじめ、自主的な地域活動を行っているグループ等を対象に、市長が市民の皆さんの生の声を聴く「座ぶとん会議」を開催しています。

たくさん遊んで大きくなあれ！
ながはま冒険あそび場つくりの会

今回、懇談したのは「ながはま冒険あそび場つくりの会」の皆さん。

子どもにとって「遊び」は生きることにそのもの、子どもの育ちになくてはならないものですが、現代は、そのための三間（「遊ぶ仲間」「遊ぶ時間」「遊ぶ場所」）が失われつつあるといえます。会では、この三間の環境を作るきっかけづくりをされています。

冒険遊び場では、火を使ったり、木に登ったり、ものを作ったり、自分の「やりたいこと」を実現しながら、子ども自身が創り出す「遊び」を大切にしているのだとお話くださいました。

この取り組みについて話し合うにあたり、子どもの「遊び」について一緒に考えました。

私の子ども時代は、近所の子どもを誘い、缶けりやかくれんぼをした記憶があります。皆さんも秘密基地作りや雪遊びなど、おもちゃというよりは、日常生活にあるもので工夫して遊んでいたようです。

逆に今の子どもは、遊び方の決まっている玩具やテレビゲームで遊ぶ傾向が強く、自ら工夫したり、仲間と群れて遊ぶ機会が少なくなるように、遊び方が様変わりしているよう

このように社会環境が大きく変化した現在、子どもが自尊心（自己に対する肯定的な感情）を持ちにくい傾向にあり、その結果、無気力・自分に甘い・すぐキレるといった子どもが増えていると言われています。その原因として体験活動や群れ遊びの不足、コミュニケーション機会の減少があるというデータが出ています。

先々のデータや意見、また私の体験からも、冒険遊び場が現在の子どもには大切な体験の場であると改めて理解できました。

今回の懇談を通して、私の幼少期は村全体がまさに冒険遊び場だったのだと感じました。今はそんな環境が十分にありません。とは言えませんが、それでも子どもがのびのびと遊び、自尊心を持ってあげることが必要だと思えました。



問 市民広報室 ☎65-6504

長浜・木之本警察署からのお知らせです

高齢者の特性を理解し、毎日を安全に過ごしましょう

昨年、市内では7件の交通死亡事故が発生しました。このうちの6件に高齢者が関わっています。加齢に伴う身体能力や判断力などの低下は避けることができません。「道路の横断に時間がかかった」、「危険の察知が遅れた」などの経験をした人も多いのではないのでしょうか。交通事故防止のため、誰もが高齢者の特性を理解し、思いやりの運転、慎重な行動を心掛けましょう。

高齢者の皆さんへ

1. 道路を渡るとき、慎重に車との距離を見極めましょう。
 - ・脚力が弱くなり、横断に時間がかかります。
 - ・視覚機能が衰え、近づく車との距離感が狂いがちです。
 - ・暗くなると特に見えづらくなります。
2. 運転する場合は次のことに注意しましょう。
 - ・ハンドルやブレーキの操作が遅くなりがちです。
 - ・交通状況に対する判断が遅れることがあります。
 - ・動くものに対する視力が低下しています。
3. 夜間外出時は、明るい服装で、反射材等を身につけましょう。

ドライバーの皆さんへ

- 横断しようとしている歩行者を見かけたら、停止しましょう。
- 夕暮れ時は早めにライトをつけ、歩行者・自転車を確認できるようにしましょう。

平成24年中の交通事故発生状況

人身事故発生件数	629件（±0件）
死者	7人（△2人）
傷者	794人（+3人） （前年比）

問 市民協働推進課 ☎65-8722

今月の表紙

弱みを強みに、余呉の雪ん子キムチ

獣害や豪雪、山間地という厳しい条件のため、約32ヘクタールが耕作放棄地となっている余呉地域。特に10年以上放置された国道365号線沿いの農地（17ヘクタール）は雑木や背丈ほどの雑草類が繁殖して近隣の山林と一体化し、イノシシなどの住処になってしまっています。

そこで「余呉地域耕作放棄地再生・活用対策会議」が中心となり、草刈りや石・雑木の撤去、二重の獣害防護柵の設置を行い、見事農地として再生させました。

こうしてたくさんの方の手により再生した農地ですが、冬の積雪だけではどうすることもできません。そこで、この不利な条件を逆手に取りました。

雪に埋もれた白菜は、凍結しないように糖度をあげて身を守る性質があるため、甘くなります。また、雪で日光が遮られることで柔らかくなる

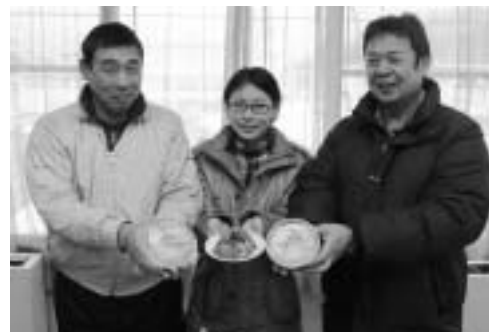
り、品質が向上します。この白菜の性質を活かして「摺墨山菜加工組合」が雪掘り白菜キムチをつくり、販売を始めました。

このキムチはすべて手作りで、白菜の原形をとどめたまま、葉と葉の間に特製のキムチベースを丁寧に挟み込みます。イカの塩辛が入っているため、深いうまみがあるのが特徴です。

組合の永井好彦さんは、「地元余呉の雪掘り白菜で漬けた「余呉の雪ん子キムチ」、ぜひご賞味ください」とキムチのでき栄えに自信を見せました。

問合せは、はごろも市まで。

目次	
■ 表紙	1 P
■ 北近江の観音さま	2 P
■ 座ぶとん会議	3 P
■ お知らせ	4～6 P
■ 図書館だより	7 P
■ ほけんだより	8・9 P
■ インフォメーション	10・11 P
■ ほっとにゆ〜す	12 P



はごろも市 ☎86-3312